

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正 使用 注意	感染症(PT)	出典	概要
												E型肝炎	第55回日本ウイルス学会学術集会 2P207	71045に同じ
												A型肝炎	第55回日本ウイルス学会学術集会 2P213	71045に同じ
												バルボウイルス	Vox Sanguinis 2007; 93: 341-347	71045に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	J Biol Chem 2007; 282: 35878-35886	71045に同じ
1048	2008/03/18	71048	光製薬	ダルテパリンナトリウム注射液	ダルテパリン ナトリウム	ブタの小腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
1049	2008/03/21	71049	持田製薬	日本薬局方 注射用ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	日局ヒト絨 毛性性腺刺激 ホルモン	ヒト(妊婦)尿	中国	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2007年8 月3日	ウガンダで29歳男性がマールブルグ出血熱と確定診断された。この男性は2007年7月4日に発症し、7月7日に入院し、7月14日に入院した。この男性は6月27日に同様の症状を発症し、入院した職場の同僚の介護を行っていた。調査の結果、この職場では他に感染疑いが1例確認され、また6月中旬中旬に病室となり、その後、回復した人が2例いた。
												チクングニアウイルス感染	CDC/Traveler's Health 2007年9月 11日	イタリア保健当局は最近、イタリア北東部のRavenna地方における166例のチクングニア熱症例(内27例は確定例)を報告した。検査の結果、同地方の蚊が感染を媒介していることが明らかとなった。ヨーロッパにおいて蚊によるチクングニアウイルス伝播は今回が初めてである。同地方への旅行者は蚊に刺されないように準備し、また、チクングニア熱の症状に注意を払うべきである。